

＜ 第44回高高神田会のご案内 ＞

「第12回 半月の夜のコンサート in 東慶寺」のご案内

～ 今年も例年通り開催することができました ～

台風が次から次に来て、一挙に晩秋の気配すら感じる候となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

東慶寺のご住職であり 我が高高東京玉翠会S45卒の井上米輝子さんのご主人でもあった井上正道氏が7月にご逝去されました。

津送(本葬のことを仏教用語でこういいます。)が9月19日に執り行われ、何人かの方も参列されたことと思いますが、実に悲しい残念な報でした。生前のご住職の暖かいお気持ちに心から感謝しつつ、ご冥福をお祈りする次第です。

恒例の本コンサートの開催をどうするか思い悩んでおりましたが、井上米輝子さんのご厚意で、今年も開催できることとなりました。

そういった事情もあってご案内が遅れ遅れになりましたが、恒例の

「秋の東慶寺コンサート」のご案内を申し上げます。

第12回目となりました今回の東慶寺コンサートは、常任出演の

藤原清登さん(ベース:S47年卒)と

白川真理さん(フルート:S52年卒)に加え、今年のゲストとして

ドラム奏者の「富川政嗣さん」と

ピアノ(キーボード)の「塚田有香さん」をお迎えいたします。

今年お迎えする「富川政嗣さん」は、清登さんが日本でのトリオを組んでいるドラマーです(ウェブ上ではCanopus Drums Endorser と紹介されていました。きっと、Canopus の素晴らしいドラムの音が聞けるに違いありません)。

富川さんは、1958年に我々の故郷 香川県生まれです。高松一高OBですが、小学校・中学校時代のお友達も皆様の中におられるかも知れません。私の同期も知っていて「まっさん」と呼んでいたそうです。

富川さんは、高松一高を卒業した後、ドラム教室で学ぶ傍らセミ・プロフェッショナル活動を始め、1989年渡米。New York の名門 Drummers Collective で4年間学びその後同校の講師に就任。ジャズドラム及びアンサンブルを指導。2002年の帰国までNYにおいて様々なセッション、ライブコンサート、クリニック、などで活躍。そのジャンルは Jazz だけには留まらず Funk, R&B, Latin, Brazilian, Free music, など幅広い世界で活躍する方です。

(詳しくは、<http://www.masashitomikawa.com/>ご参照)。

今回は清登さんとの本格的なジャズセッションが聴けそうです。とても楽し

みなゲストです。

また、真理さんやゲスト塚田さんとのセッションでも新しい世界が広がるに違いありません。

もう一人のゲストのピアノの塚田有香さんは真理さんの「古武術奏法」のお弟子さん（ピアノのお弟子さんではありません）だそうです。

ところで、東慶寺コンサートはご存知の通り清登さんのジャズベースと真理さんのクラシックフルートを中心に組み立てておりますが、このコンサートで度々頭を悩ませるのが「ピアノ」です。でも、本堂にピアノを入れることができません。

そういうことで今回もまた（塚田さんには大変申し訳ないのですが）キーボードで演奏して戴くこととなります。このために、本当はお願いしたいピアノソロをお願いできません。

でも塚田さんには、真理さんのフルートの伴奏だけでなく、清登さんや富川さんとのセッションには、大いにご活躍を戴きたいと期待しております。キーボードですから、ピアノにはない音色でのセッションも期待できます。

まあ、フルートにベースにドラムと来てキーボードですからジャズ調・ポップス調のセッションに、古武術奏法の奥儀を使ってすばらしい演奏で楽しませてくれるでしょう。

因みに塚田有香さんは11月5日の東京香川県人会にも白川さんと出演される予定です。当たり前ですが、そこではちゃんとピアノを弾いてくださいます。

真理さんの古武術奏法は、何度か、NHKでも取り上げられましたことは、皆様もご承知のとおりです。

して、「古武術奏法」とはなんぞ？

そも武道とは心（精神）・技（技術）・体（身体）の調和によってこそいかに力発揮することができるというもの。

フルートやピアノの演奏とて例外ではない。演奏技術を磨くのは当然だが、技のみに頼るでなく心穏やかに身体を研ぎ澄ませて心技体の調和を図れば千人力、百戦危うからず！・・・ということでしょうか？

適当なことを言いましたが、当日真理さんにこの辺をお聞きしましょう。

呼吸法とか姿勢とか、色々と教えてくれますよ。あまり熱心に聞くと、演奏会が古武術講習会になるかも知れませんが・・・

（それから、真理さんは最近バッハのシャコンヌの編曲譜（古武術奏法解説付き）という貴重な楽譜をアルソ出版より出版されたそうです

<http://www.alsoj.net/store/view/ALFLSC.html> なんかとてつもない楽譜のようですよ・・・)

そんなことで、今年もいつもとは少し趣を変え、古武術奏法によるフルートとキーボードに、いつもの清登さんのベースにドラムが加わり、そのユニーク

な古武術と本格的なジャズのセッションという本邦初のユニークなセッションを 秋の深まりゆく東慶寺で ふんだんに聴くことができるでしょう。
実に楽しみであります。

ということで、今年の東慶寺コンサートの ご案内を申し上げます。

開催日時 : 11月9日(土) 午後4時30分受付 午後5時開演
場 所 : 鎌倉 東慶寺本堂 (JR北鎌倉駅より徒歩3分)
鎌倉市山ノ内1367 Tel 0467-22-1663

このところの当会では会場の演出(飾り付け)にも凝っています。

「3年前は蠟燭の灯の中で源氏物語の朗読」、「一昨年はギター演奏に合わせてボールとキラキラ電飾で地中海のイメージ」、「去年はインド音楽風のシルクっぽい布を波立たせボンボリのほの暗い中のとてもエキゾチックな演出」でどれも雰囲気満点でした。今年もどんな演出があるのかおそらく皆さん期待しておられることと思います。

舞台装飾照明担当主任(S53 卒長尾みどりさん)の腕の見せ所ですね。

ベース・ドラム・フルート・キーボードですのでポップな演出となるのでしょうか。長尾さんも心地よいプレッシャーを感じながら腕を振ってくれるに違いありません。

なお、当日の費用ですが、神田会ですので、関係者の皆様のご好意に甘えながらやっております。東慶寺の皆様や当日のパンフ作成は池上晴英さん(S45 卒)のご好意で、また渡邊会長、三崎屋副会長からは例年どおり援助を戴くなど、いろいろな皆さまのご協力・ご支援を頂いております。

とはいえ、無償ということはず、実費等の関係で、会費として一応、例年とお
8000円(食事をされない場合は 5000円)をいつものようにお願い致します。

本当は1万円でも赤字なのですが、東慶寺の井上さん、出演者の方々、ステージデザイナー、池上さんと色々な方々のボランティア精神に甘えており、この金額でお願いします。

(来年からは値上げかも。今年は、その意味でも是非とも参加せんといかんかも…)。

神田会も回を重ねて第44回になります。その間いろいろなことがあり、今回のように開催が危ぶまれたり、急遽何かが起こったりすることも何度かございましたが、そうはいいながらもこうして続けているのは、参加戴っている皆様のおかげでもあります。

今年もそんな皆さま方のご参加をお心から待ちしております。

亡くなられた井上住職を偲びつつ、ほいたら 「東慶寺」でお会いしましょう。

高高神田会東慶寺コンサート世話役一同

p. s.

(お詫び：先週、一部の方には日程確保のためにご案内を差し上げていましたが、その後、そこで予定していましたゲストの方が急遽出演できなくなりました。そこで塚田さんにピンチヒッターとして出演して頂くことになり、この案内文（改訂版）となりました。

おっちょこちょいの世話役と同様に慌てこまいの連絡世話役から案内を受けた一部の方にはご迷惑をおかけします。申し訳ありませんでした。よろしくお願ひします。)



第 12 回 東慶寺コンサート（11月9日 土曜日） お申込書

- 今回も先着順ということで受付をいたします。
- メール、FAX、郵便なんでも結構です。
- いつもの面々に連絡下さい。

FAX 送付先 03-5296-7678 岡崎 洋 okazaki@o2m-law.com

神田会 メーリングリスト でも受け付けます

- どうしてもコンサートのみ参加という方はその旨明記下さい。

第 12 回 東慶寺コンサート 参加申込書

氏名

卒年

連絡先

電話

ファックス

メールアドレス

住所

一緒に参加される方

1、

ご関係

2、

ご関係

3、

ご関係

4、

ご関係

FAX 送付先 03-5296-7678

岡崎 洋 okazaki@o2m-law.com

神田会 メーリングリスト でも受け付けます。